



日建連表彰2024



第65回BCS賞

MIYASHITA PARK

選定理由【選考委員】
赤司泰義・篠崎淳・北典夫

MIYASHITA PARKは、高度経済成長期（一九六六年）に建設された、都市計画駐車場を持つ区立宮下公園を、区と民間の連携により建て替える三〇年の定期借地事業である。

本計画の大きな特徴は、東西の渋谷と原宿を結ぶ人の流れの結節点となるポテンシャルを持ちながら、これまで人の流れを遮る場所となっていた宮下公園を、新たに周辺と多層的に接続し直すことで、多様な人々が行き交う場へと変貌させた点にある。南北街区間のブリッジや既存の歩道橋を含む多層接続により、街と密接に連携し、従来の公園利用者だけでなく、観光客や通勤・通学者など、新たな層の利用者を呼び込むことに成功している。

この賑わいをもたらす機能複合

は、都市公園法に基づく立体都市公園制度を、渋谷区で初めて活用することで実現された。道路上空に架けられたブリッジ部分を、通常の基準を超える幅員で実現し、公園面積を既存と同等に確保しつつ、ホテル建設用地を創出するという計画手法は独自性が高く、この再生事業の根幹を成すものとして、高い評価に値するものである。

商業施設部分では、街に開かれ、つながる空間が目指され実現されている。渋谷川暗渠部分を外部席として利用する横丁や、上階商店舗の外部化した通路は、シームレスな街とのつながりを感じる空間となっている。屋上公園は、多様な人々が集まる場として活性化しており、多様なイベントにも積極的に活用され、活力のあるパブリックスペースとして成功している。上空を覆う緑のアーチは、長大な空間に一体感を与えているが、今後はより緑量が増

して、魅力的な緑陰を形成することが期待される。

施工面では、立地や労務環境に対応するための工夫が随所に見られた。作業ヤードの有効活用と工事の平準化を図るため、街区ごとに異なる工法を採用し、特に夜間の限られた時間内で行われる公道上のブリッジ部分では、フルユニット化を実施した。高層棟部での外装取り付け後の躯体工事など、鉄道への影響をゼロに抑える対策も徹底されている。これらの工夫により、JR線と渋谷川・明治通りに挟まれた厳し

い立地条件下での、適正工期での施工を実現している。

従前の宮下公園のように、高度経済成長期に整備された都市機能が、老朽化し時代の要請に合致せず、都市景観や多様な人流・活動の障害となっている場所は少なくない。この課題に対して、企画・設計・施工・運営が一体となって取り組んだ本計画は、今後の都市再生やパブリックスペースの創出にむけて様々な示唆をもたらすものとなるだろう。

1. 俯瞰
2. 3階商業部分
3. 5階レストラン
4. 北街区明治通り側外観

MIYASHITA PARK 概要

- 所在地 東京都渋谷区神宮前6-20-10他
- 建築主 三井不動産㈱
- 設計者 ㈱竹中工務店、(株)日建設計
- 施工者 ㈱竹中工務店
- 竣工日 2020年4月30日

- 敷地面積 北街区：4,515㎡
南街区：6,225㎡
- 建築面積 北街区：3,855㎡
南街区：5,100㎡
- 延床面積 北街区：29,764㎡
南街区：16,193㎡

- 階数 北街区：地上18階、地下2階、塔屋1階
南街区：地上5階
- 構造 北街区：鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄筋コンクリート造
南街区：鉄骨造
ブリッジ：鉄骨造



詳細や他の写真などは
左記の二次元コードから
Webページにアクセスしてご覧ください。

《日建連表彰2024 第65回BCS賞受賞作品》 石川県立図書館／エスコンフィールドHOKKAIDO／Otemachi One／OKI本庄工場H1棟／春日台センターター／京都東山計画（山荘 京大和・パーク ハイアット 京都）／高槻城公園芸術文化劇場／東京ミッドタウン八重洲／ところざわサクラタウン／那須塩原市図書館 みる／福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館／MIYASHITA PARK／明治大学創立140周年記念 和泉ラーニングスクエア／屋島山上交流拠点施設「やしまーる」／読売テレビ新社屋

BCS賞

BCS賞は、建築の事業企画・計画・設計、施工、環境とともに、供用開始後1年以上にわたる建築物の運用・維持管理等を含めた総合評価に基づいて選考し、建築主・設計者・施工者の三者を表彰する建築賞です。この賞は、1960年にはじまり2024年で65回を数えました。